

わかやまをつくり守っています。

# わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

## 第5回 暮らしを守る 排水計画

農業用水路は、田んぼや畑に水を引くだけでなく、地域の生活排水を川に流す役割もあります。でも大雨や台風が起これると、川の水があふれて私たちの住んでいるところに水があふれてしまいます。そうならないように古くなった用水路を直し、水を川に戻す施設などを作ることが、田畑だけでなく私たちの暮らしも守っているんです。



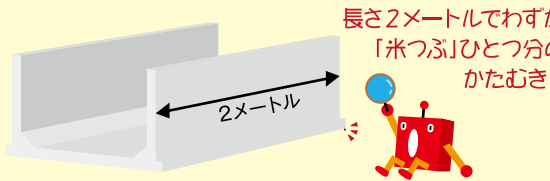
紀の川市では2023年に「高嶋排水機場」ができたことにより排水の力が30%もアップしました！  
2023年6月の大雨の時には、災害から地域を守るために活躍しました。

## こんなこと知ってる!?

### 1ミリ単位の正確な作業がポイント!

紀の川市にある「紀の川水系」は、昔から地理条件や天候により水害の多い地域でした。そこで、桃山地域で始まったのが、水を川に戻すための水路工事です。水の通る道を作り、クレーンで2メートルずつコンクリートの水路をつけていくのですが、実は平らに置くのではなく、1メートルに1ミリずつかたむけていくといういねいな作業が必要でした。少しずつ作り進めて大型の水路が完成。大雨がふる時も水の通り道を守っています。

土地の形をドローンで撮影し、道を作ったら水路を少しずつつなげていきます。110メートルもあるのに、はしからはしまでの高さの差はわずか11センチ!



長さ2メートルでわずか「米7分」ひとつ分のかたむき!!

## この人に 聞きました!



この水路工事で2月に「近畿農政局賞」をもらいました!

ふな きん や  
船木進也さん  
紀の川市立安楽川小学校卒

### 「土木はおもしろくて役立つ仕事!」

大学を卒業して違う仕事をしていたんですが、土木に興味があって父の会社をつぎました。何もないところに道や建物ができるのは本当に楽しい。まちを作っているという気持ちやみんなに喜んでもらえることがやる気になります。どんなものを作っても修理は必要なので、土木はなくなる仕事。人類の発展のためになる仕事だと、誇りをもっています。

知ってほしい、より安心の制度。

法定外労災  
補償制度

## 建設共済保険

公益財団法人 建設業福祉共済団

制度が変わって、安心充実。今すぐ、ご加入を!

掛金負担  
が軽減

手厚い  
補償

労働者と  
企業のリスク  
をカバー

一般社団法人和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通北1丁目1-8  
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を!

